

国民年金保険料納付状況等

令和5年7月



仙台東年金事務所（宮城県代表年金事務所）

目 次

- 1. 公的年金の制度体系と全体の状況・・・・・・・・・・ P2
- 2. 国民年金保険料納付状況等・・・・・・・・・・ P3

出典

「令和4年度公的年金制度全体の状況」「令和4年度の国民年金の加入・保険料納付状況」
(厚生労働省年金局公表資料)

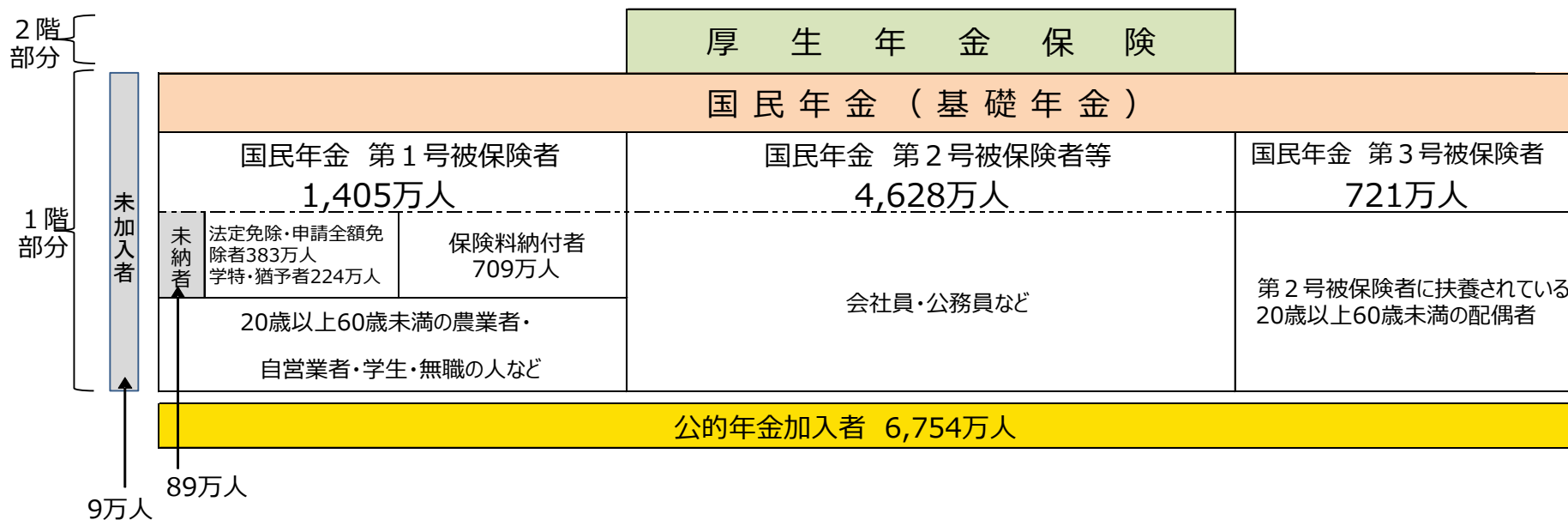
1. 公的年金の制度体系と全体の状況

日本の公的年金制度は、**老後の暮らしをはじめ、事故などで障害を負った時や、一家の働き手が亡くなった時に、みんなで支えあうという「社会保険方式」の考え方で作られた仕組み**です。現役世代が納めた保険料によって年金が支給される「世代と世代の支えあい」を基本に運営しており、年金保険料以外にも、国（税金）や積立金が年金給付に充てられています。

20歳以上60歳未満のすべての方が加入する国民年金（基礎年金）と会社員・公務員が加入する厚生年金保険の2階建て構造になっており、厚生年金保険の加入者は国民年金にも加入していることになります。

公的年金制度全体と公的年金加入者の状況（令和4年度末）

- 公的年金加入者対象者全体でみると、約99%の方が保険料を納付しています（免除及び納付猶予を含む）。
- 未納者は約89万人、未加入者は約9万人で、公的年金加入対象者の約1%の割合となっています。



- ※ 未納者とは、国民年金第1号被保険者であって24か月（令和3年4月～令和5年3月）の保険料が未納となっている者。
- ※ 未加入者は、令和元年公的年金加入状況等調査の結果（推計値）。
- ※ 上記の数値は、それぞれ四捨五入しているため合計数値とは一致しない場合がある。

2. 国民年金保険料納付状況等

全国

平成27年度から令和4年度までの「年齢階級別現年度納付率」は下記の表のとおりとなっている。

25～29歳の階級で納付率が一旦下がる傾向は続いており、30歳から年齢階級が上がるにつれて納付率が上昇していく傾向も同様である。

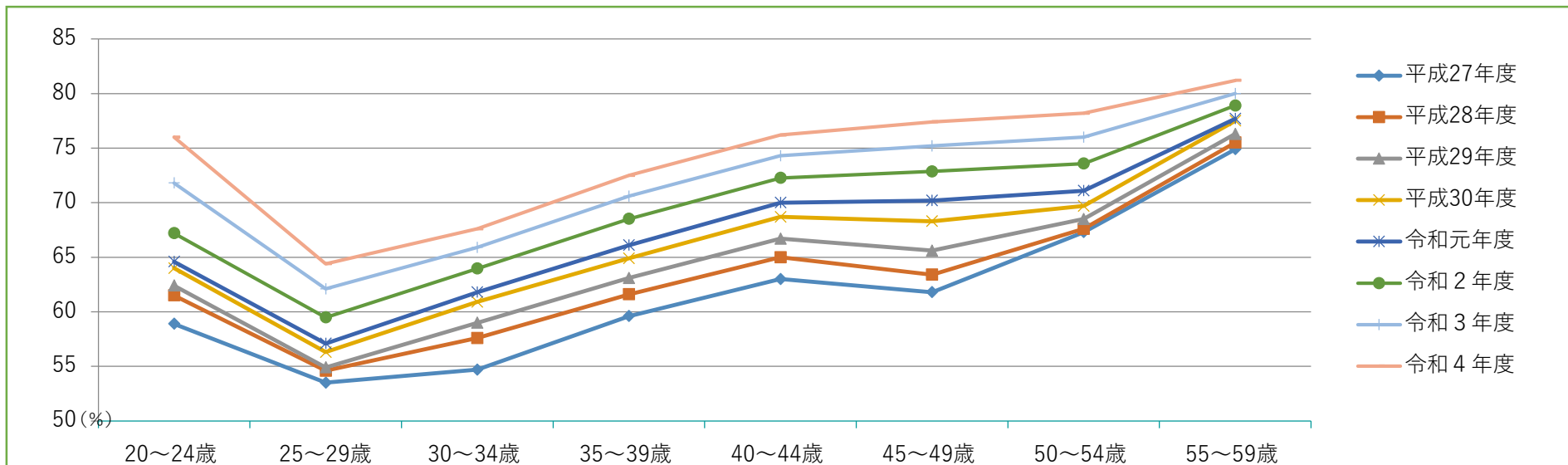
平成30年度までは45歳～49歳の階級で若干納付率が下がる傾向があったものの、令和元年度以降はその傾向もなくなった。

令和3年度以降、55～59歳の階級では納付率80%を超えている。

年齢階級別納付率（現年度分）

（単位：％）

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
平成27年度	58.9	53.5	54.7	59.6	63.0	61.8	67.3	74.9
平成28年度	61.5	54.6	57.6	61.6	65.0	63.4	67.6	75.5
平成29年度	62.4	54.9	59.0	63.1	66.7	65.6	68.5	76.3
平成30年度	64.0	56.3	60.9	64.9	68.7	68.3	69.7	77.5
令和元年度	64.6	57.1	61.8	66.1	70.0	70.2	71.1	77.7
令和2年度	67.2	59.5	64.0	68.5	72.3	72.9	73.6	78.9
令和3年度	71.8	62.1	65.9	70.6	74.3	75.2	76.0	80.0
令和4年度	76.0	64.4	67.6	72.5	76.2	77.4	78.2	81.2



2. 国民年金保険料納付状況等

(1) 【東北6県】国民年金保険料納付状況等

国民年金保険料の納付率は、「納付義務がどれだけ果たされているか」という納付状況を見るための指標で、納付対象月数に対する納付月数の割合を算出しています。

(令和4年度末)

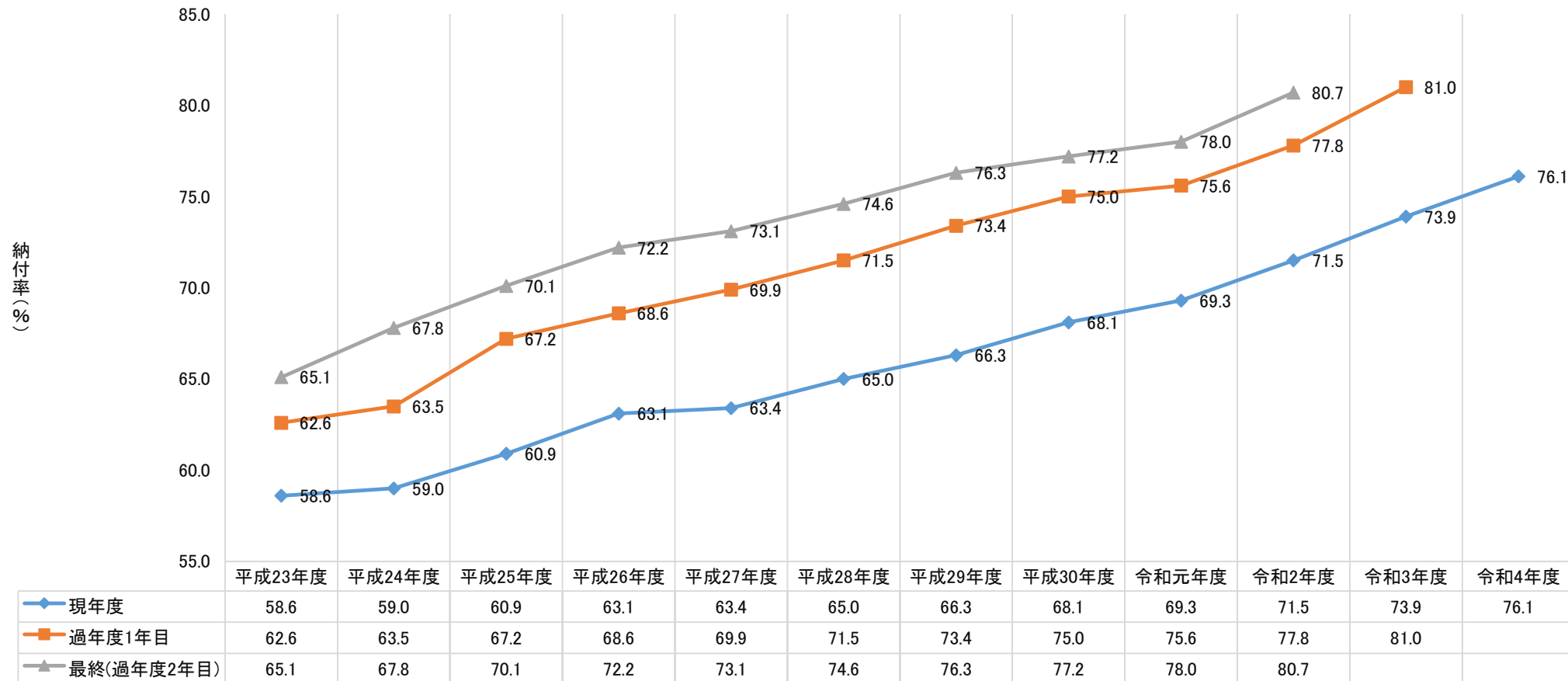
県名	納付状況		免除状況	
	令和4年度分納付率 (前年度比)	令和3年度分 納付率	令和4年度 全額免除・猶予割合 (前年度比)	令和3年度 全額免除・猶予割合
宮城県	78.0% (+2.3)	75.7%	45.8% (+0.5)	45.3%
山形県	84.1% (+1.5)	82.6%	42.0% (+0.2)	41.7%
福島県	78.0% (+1.4)	76.6%	46.9% (+0.4)	46.5%
青森県	78.6% (+1.9)	76.7%	51.4% (+0.7)	50.7%
岩手県	83.6% (+1.7)	81.9%	44.9% (+0.5)	44.4%
秋田県	83.1% (+1.1)	82.0%	47.2% (+0.1)	47.1%
全国計	76.1% (+2.2)	73.9%	43.8% (+0.4)	43.4%

※ 全額免除・猶予割合 (%) = $\frac{\text{法定免除者数} + \text{申請全額免除者数} + \text{学生納付特例者数} + \text{納付猶予者数}}{\text{第1号被保険者数 (任意加入被保険者数を除く)}} \times 100$

(2) 国民年金保険料納付率の推移

全国

- 令和2年度分保険料の最終納付率は、令和4年度末時点で80.7%となり、令和2年度末の71.5%から9.2ポイント伸びた。令和3年度分保険料の納付率も前年度と比較し、7.2ポイント伸びている。
- 令和4年度の現年度納付率（令和4年度分保険料）は76.1%となり、平成23年度の現年度納付率から10年以上連続で上昇している。



※ 国民年金保険料は、過去2年分の納付が可能です。最終納付率とは、過年度に納付されたものを加えた納付率です。納付すべき月数（法定免除・申請全額免除・学生納付特例・納付猶予月数は含まない）に対し、時効前（納付期限から2年以内）までに納付した月数の割合となります。

$$\text{納付率 (\%)} = \frac{\text{納付月数}}{\text{納付対象月数}} \times 100$$

宮城県

【全国との比較】

- 令和2年度の最終納付率は、令和4年度末時点で83.3%となり、全国最終納付率と比較して2.6ポイント上回っている。
- 令和4年度の現年度納付率（令和4年度分保険料）は78.0%となり、全国と比較して1.9ポイント上回っている。
- 納付率は10年以上連続で上昇している。

